

福祉

国際障害者年 関連に 一億二千万円を計上

子供やお年寄り、身体障害者(者)など社会に弱い立場に立っている人のために、市は新年度も制度の充実を図り、一層きこやかな施策を講じます。特に今年度は、国際障害者年に関連事業に一億二千万円を計上し、障害福祉予算も今年度比で三割増と全力をあげて取り組んでいます。

障害者の居住環境を改善するために必要とする専用居室の増設、または改修に要する経費として、今年度より三十万円アップし、百八十万円を限度として貸付します。

保育時間を30分延長 午後6時まで

一児童福祉

新年度から保育時間の延長(八時六十分→九時二十分)が、必要の子供たちに対して、公私立保育園一斉に保育時間を三十分延長し、午後六時までとします。これは、通勤圏の拡大につれて、現在の五時半終了では、子供を迎えにくく間に合わない、という母親の要望にこたえたものです。

大形地区に ひまわりクラブ開設

児童が放課後学校から帰った後、保護者などがない家庭の児童(小学生三年生以下)を対象とした学童保育ひまわりクラブを、大形地区で四月から開設します。旧大形連絡所の建物を使用し、定員は四十人。

「もぐらの家」建設

ニコロニ一

用地も取得、一障害福祉

点訳奉仕員を養成

新たに、点訳奉仕員の養成のため、講習会を実施します。また、手話奉仕員の養成も手話講習会に昼の部を設け、拡充を図ります。

国際障害者年関連事業は

国際障害者年関連事業は、十一月二十九日に音楽文化会館で開かれます。内容は、講演、意見発表などが予定されています。

念記大会など 各種事業を実施

社訓読本、民間企業向け

の「雇員促進ガイドブック」

住みよいまちづくりのため、公共施設の整備は、本庁舎公民館側の入口、西北地区事務所などの出入口のロープ化、東総合庁舎、丸山野球場、西海用一、丸山などの身障者専用トイレ設置、西保健所の出入口の自動ドア化、車いすの散歩道など、西海用一敷地の整備などをそれぞれ進めています。

中野小屋地区に 老人憩いの家新設

老人福祉

お年寄りに人気のある老人憩いの家を、中野小屋地区に新設します。これで市内の老人憩いの家は十七か所になります。

老人健康診査 60歳から

五ヶ年前から毎年一歳ずつの健康診査を、今年度より対象を引上げてきたお年寄りの健康診査は、今年度目標の六十歳に達しました。新年度も引き続き、市独自の巡回検方、腰膝、膝関節の三検査を加え実施します。

訪問看護を実施

在宅で暮らす老人に対しては、保健婦が訪問し看護指導を継続して行います。

無料入浴券を 支給

お年寄りの保健衛生と健康保持のため、公衆浴場の無料入浴券を約三千人、対象は約二千三百人。



自分社会復帰を目指す新年度は、待望の新しいもぐらの家が建設されます。

自分社会復帰を目指す新年度、五十七年度の二カ年連続で新築移転します。

西保健所では、身障者用トイレ、自動ドア、スロープを設置し施設整備を図ります。

公書監視体制さらに強化 環境事前調査も

環境事前調査も

公害から市民の健康を守るため、公害監視体制の強化を図っています。

交通安全を、「安心して歩かせない条件づくり」を基本として、道路照明、道路標識、区画線、道路反鏡を重点とした交通安全施設の整備と自転車駐車場の設置を積極的に進めます。

大形に 消防出張所

消防出張所

消防力を強化し、市民の安全を確保するために、大形地区に消防出張所を新設します。

ねたきり老人に 訪問看護を実施

在宅で暮らす老人に対しては、保健婦が訪問し看護指導を継続して行います。

無料入浴券を 支給

お年寄りの保健衛生と健康保持のため、公衆浴場の無料入浴券を約三千人、対象は約二千三百人。



健康 安全

保健所業務のうち市民の日常生活に密着した取組の高い対応を確保し、施設整備を図ります。

三歳児検診(鳥居野地区保健センター)

充実する三歳児検診(鳥居野地区保健センター)

交通安全施設の 整備を推進

交通安全を、「安心して歩かせない条件づくり」を基本として、道路照明、道路標識、区画線、道路反鏡を重点とした交通安全施設の整備と自転車駐車場の設置を積極的に進めます。

ねたきり老人に 訪問看護を実施

在宅で暮らす老人に対しては、保健婦が訪問し看護指導を継続して行います。

無料入浴券を 支給

お年寄りの保健衛生と健康保持のため、公衆浴場の無料入浴券を約三千人、対象は約二千三百人。

高齡者事業団に 補助金

お年寄りの居住環境を改善するために必要とする専用居室の増設、または改修に要する経費として限度額を十万円アップし、百五十万円とします。

老人健康診査 60歳から

五ヶ年前から毎年一歳ずつの健康診査を、今年度より対象を引上げてきたお年寄りの健康診査は、今年度目標の六十歳に達しました。

訪問看護を実施

在宅で暮らす老人に対しては、保健婦が訪問し看護指導を継続して行います。

無料入浴券を 支給

お年寄りの保健衛生と健康保持のため、公衆浴場の無料入浴券を約三千人、対象は約二千三百人。

北地区保健センター 11月にオープン 一東保健所は移転新築



充実する三歳児検診(鳥居野地区保健センター)

保健所業務のうち市民の日常生活に密着した取組の高い対応を確保し、施設整備を図ります。

交通安全を、「安心して歩かせない条件づくり」を基本として、道路照明、道路標識、区画線、道路反鏡を重点とした交通安全施設の整備と自転車駐車場の設置を積極的に進めます。

お年寄りの保健衛生と健康保持のため、公衆浴場の無料入浴券を約三千人、対象は約二千三百人。